

国際フォーラム「3・11後の政治学と日本の政治」

「復興には政治力が不可欠」

北区で開催

東日本大震災後の日本
のあり方を問う日本
政治学会・岡山県共同
国際フォーラム「3・

11後の政治学と日本の
政治」が10日、北区で
開かれ、菅波茂・AM
DA代表や五百旗頭眞
・東日本大震災復興構
想会議議長らが講演し
た。

「東日本大震災後と
AMDAの活動」と題
して特別講演した菅波
代表は50カ国以上、1
20以上の緊急医療活
動を踏まえ、「なぜ被災
地へ出向くのか」と
と切り出し、「困った
時はお互いさま。相

互扶助の精神を大切
にしている」と強調し
た。

「震災の被災地でイ
スラエル、韓国、台湾
など海外の医療支援チ
ームが活躍した。しか
し、医師のライセンス
などの問題があり、外
務省などが受け入れを
ためらう。こんな時だ
からこそ、受け入れる
べきだ」と訴えた。

五百旗頭氏は関東大
震災（1923年）、
阪神大震災（95年）、
東日本大震災について
「三つの大震災は、日
本の政治が弱い時に起
こった」と述べ、復旧

復興には与野党が結束
した政治力が不可欠と
した。阪神大震災では

「自民党の長期政権が
崩れ、政権を取り戻そ
うと村山富市社会党委
員長を首相とする自社
連立内閣が発足した時
に、大震災は起こった
と振り返った。

五百旗頭氏は「自民
党議員が村山首相を支
えた」と現民主党政権
の震災対応との違いを
強調。「民主党は、官
僚支配政治を否定し
た。菅直人前首相は官
僚に不信感を抱き、全
体的な国家戦略を立て
ることが得意でなかっ

た」と分析した。

五百旗頭氏は菅前首
相の要請で復興構想会
議の議長となり、第1
回会合で委員から「官
僚がない。官僚のノ
ウハウがなければ復興
計画ができるだろう
か」と意見が出たとい
う。そして「中堅、若
手の官僚50人にも参加
してもらった。現場で
復興事業に携わる人の
知恵は必要だった」と
明かした。さらに「国
難には超党派で協力
し、（被災地を）しっ
かりと支えることが日
本再生になる」と結ん
だ。

【小園長治】